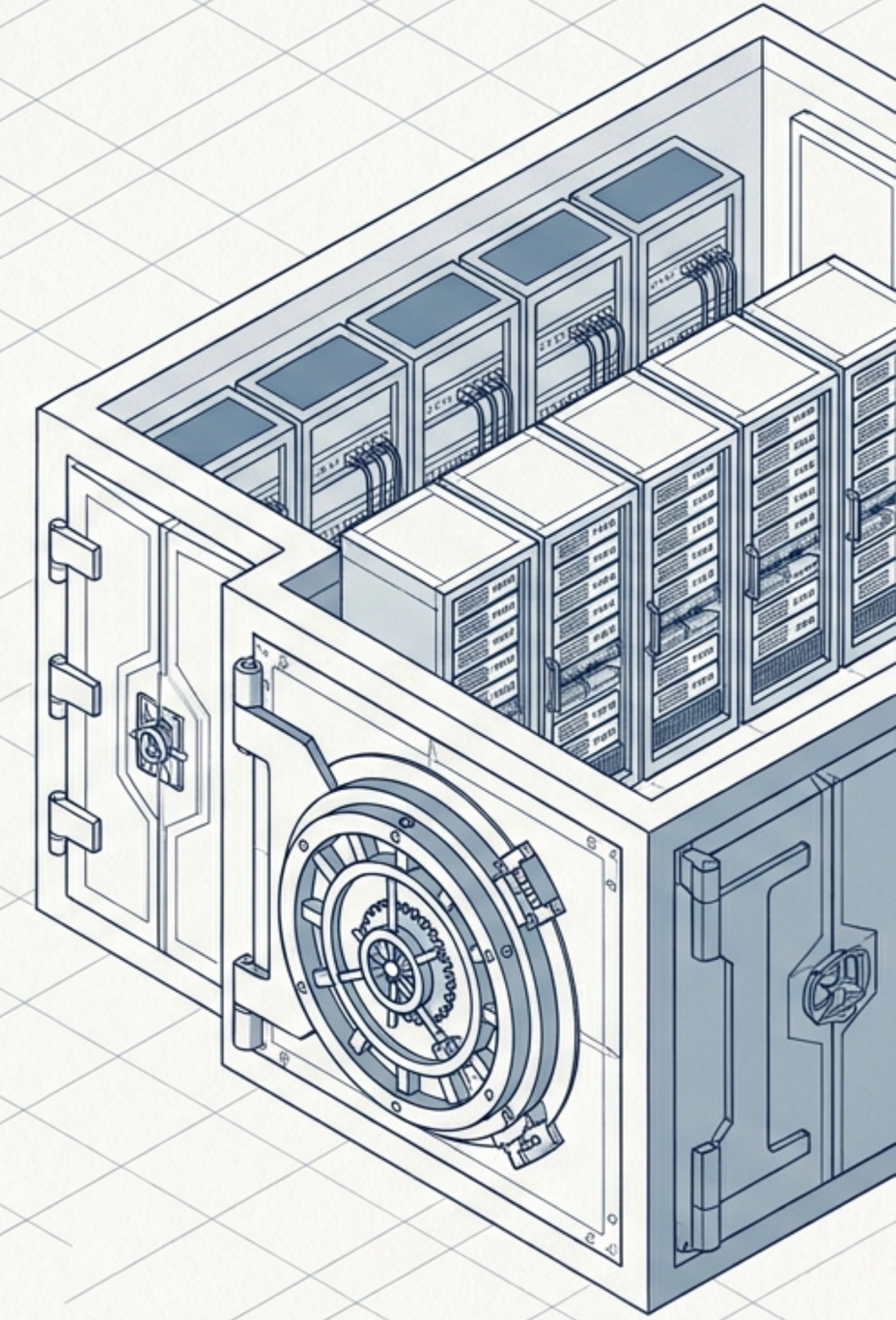
データセンター級ローカルAIがもたらす知財戦略の構造転換

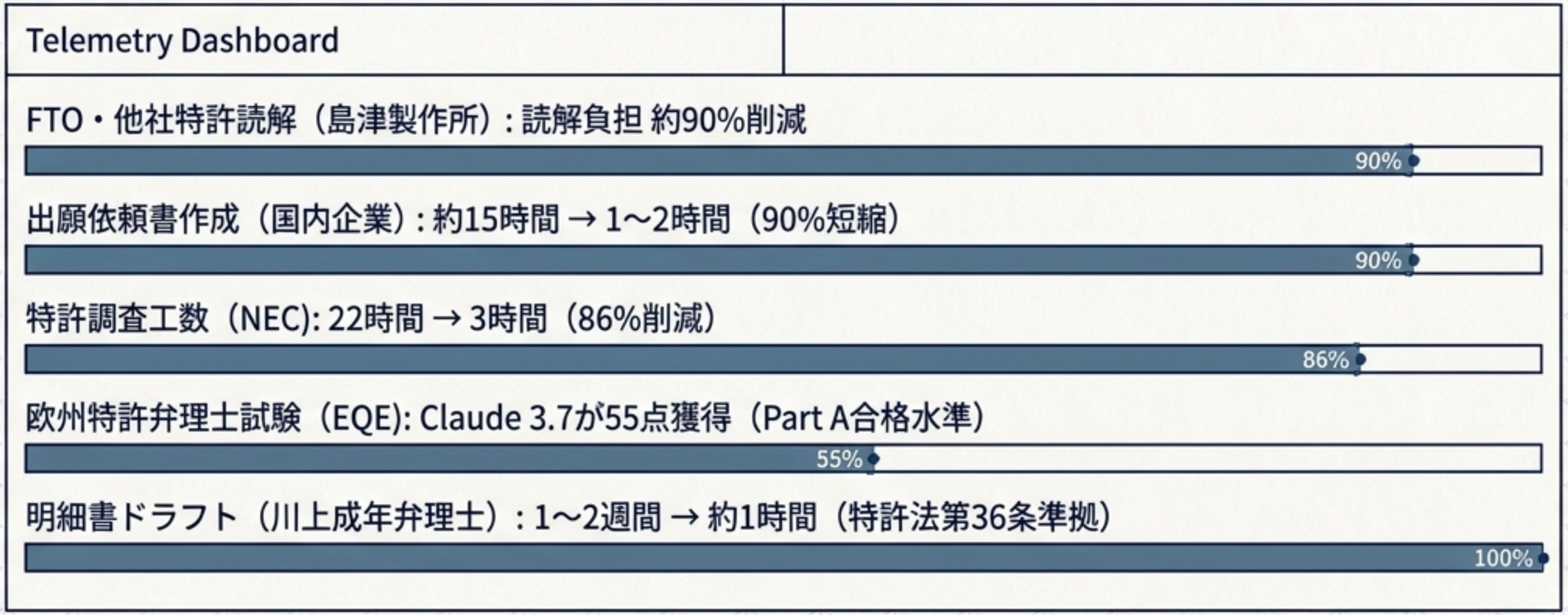
機密保持のジレンマを打破する「HP ZGX Fury G1n」と新たな業界パラダイム

企業知財部・特許事務所向け 戦略ブリーフィング



Gemini Notebook

知財実務における生成AIの到達点：圧倒的な工数削減



[CALLOUT BOX]: **これらは「公開済みデータ」における成果に過ぎない。**
真の価値は「未公開発明」の領域にある。

Gemini Notebook

[HEADER]: 構造的ジレンマ：知能と機密保持のトレードオフ

クラウドAI
(GPT-5.2 / Claude 3.7)

利点: 高度な論理推論、1兆パラメータ級の知能

- **致命的リスク**: 未公開発明の入力による「新規性喪失」と「守秘義務・NDA違反」。監査ログの外部保存リスク。



従来型ローカルPC
(最大192GBメモリ)

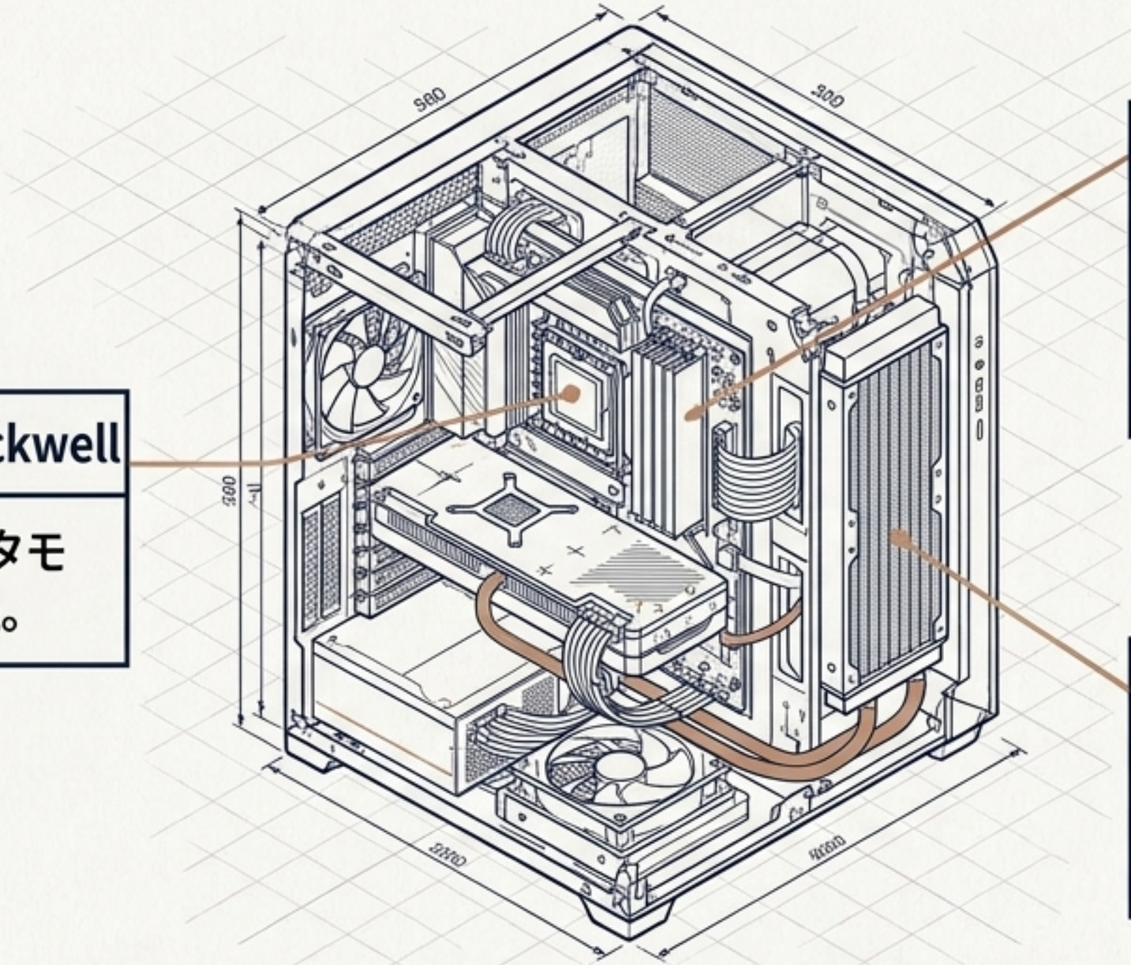
利点: 完全なオフライン、データ主権の確保

- **致命的弱点**: メモリ制約により700億(70B)パラメータが限界。複雑なクレーム設計には知能が不十分。

[BOTTOM SYNTHESIS]：**結論：これまでの技術では「安全で、かつ賢い」知財AI環境は構築不可能だった。**

Gemini Notebook

[HEADER]: ジレンマの終焉：HP ZGX Fury G1n AI Station



NVIDIA GB300 Grace Blackwell

単一ノードで1兆パラメータモデルのローカル推論を実現。

748GB コヒーレントメモリ

従来のハイエンド構成の4倍。巨大モデルを量子化(FP4)して単一機に収容。

密閉型水冷＆100V/200V対応

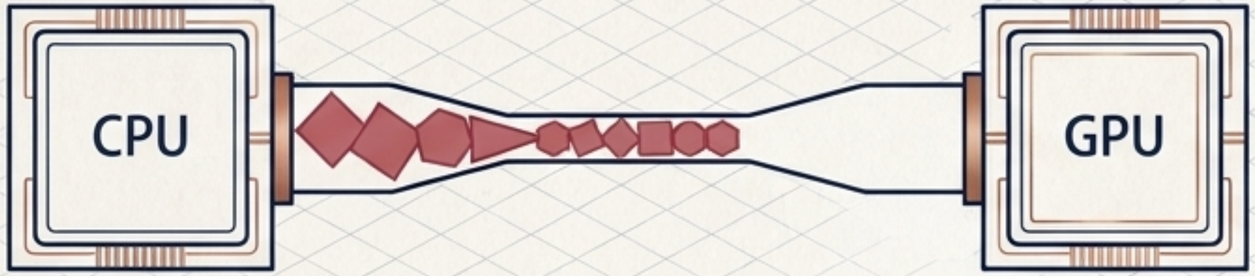
データセンターの専用冷設備不要。一般オフィスやラボに直置き可能。

[CENTER LABEL]: **データセンター級の演算力をデスクサイドへ (2,849万円〜)**

Gemini Notebook

[HEADER]: 技術的特異点：PCIeボトルネックの解消

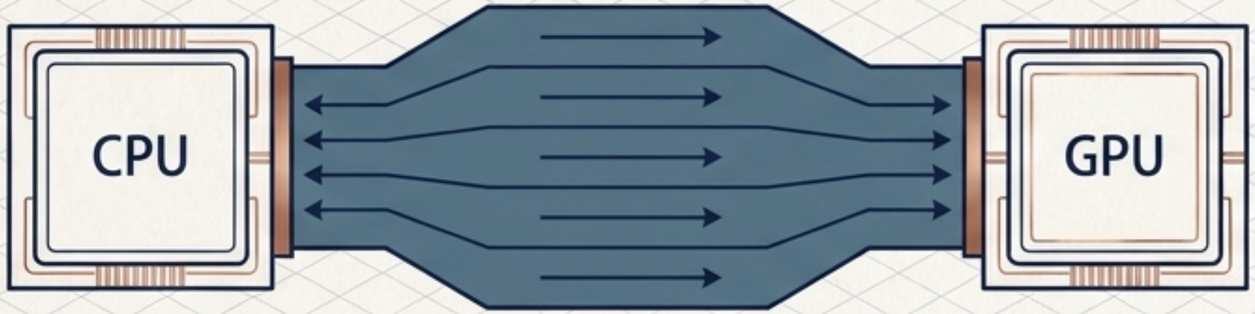
The Narrow Bridge



従来型ワークステーション

CPUとGPU間の細いPCIeバスがデータ転送の渋滞を引き起こし、巨大AIの挙動を制限。

The NVLink Superhighway



ZGX Fury G1n (NVLink-C2C)

CPU (496GB LPDDR5X) と GPU (252GB HBM3e) を帯域幅 900GB/s で直結。

完全に統一された 748GBのメモリ空間を構築。

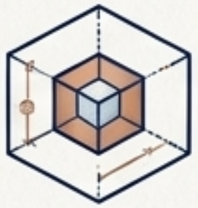
[KEY TAKEAWAY BOX]: これにより、FP4精度で最大20 PFLOPSを発揮。1000億超のフルファインチューニングが1台で可能に。

Gemini Notebook

[HEADER]: 完全閉域網（エアギャップ）での最先端AI駆動

社内機密データ
(未公開発明、3D CAD、過去の審査履歴)

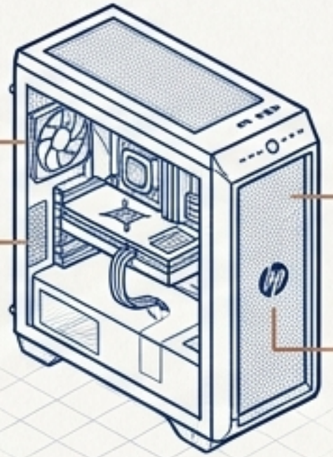






オンプレミス閉域網 (外部通信遮断)
HP ZGX Fury (NVIDIA OpenShell 自律エージェント)

NVIDIA
GB300 Grace
Blackwell



Large
memory

Sandbox

自律的自動
エージェント

成果物と最終判断
(FTO調査レポート、独立クレーム設計、明細書ドラフト)



FTO調査レポート

独立クレーム設計



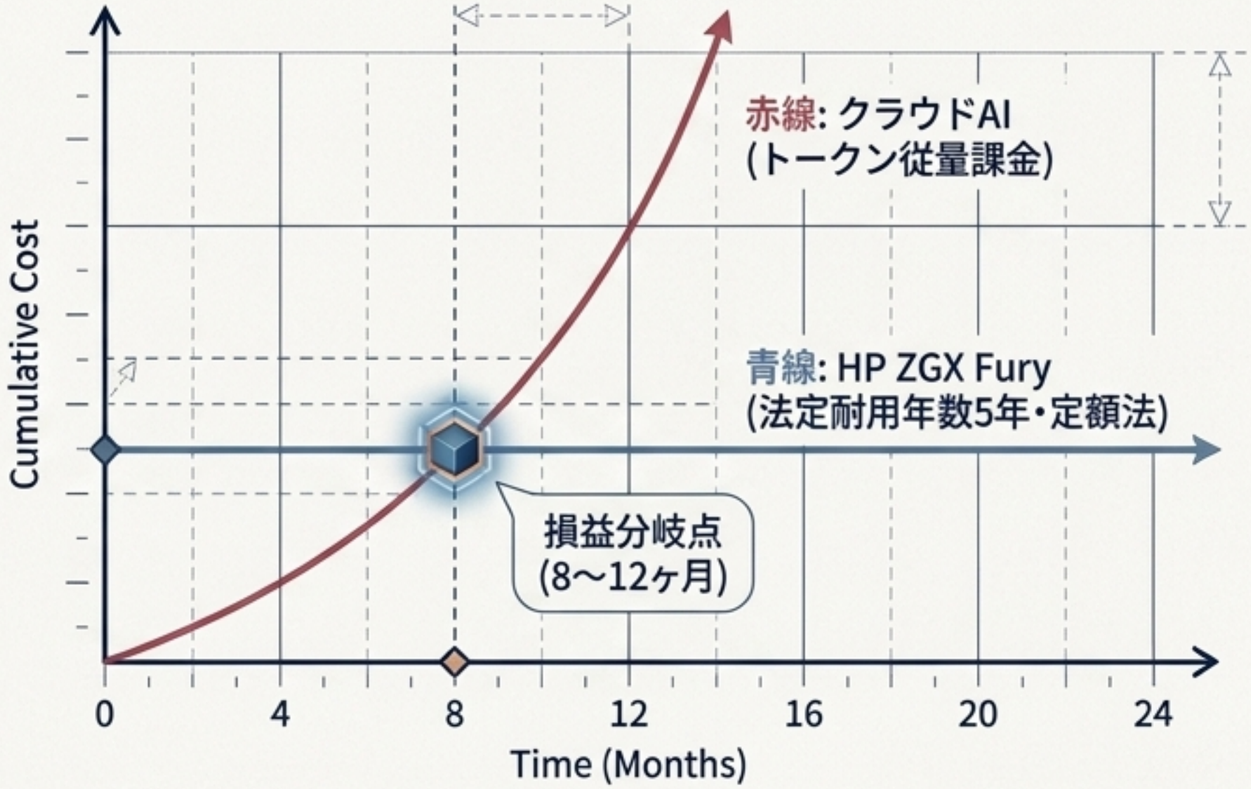
明細書ドラフト生成

法的レビュー・品質承認

外部クラウドへのデータ送信ゼロ。弁理士法第30条（守秘義務）および厳格なNDAを完全に遵守。

Gemini Notebook

[HEADER]：経済構造の逆転：OPEX（変動費）からCAPEX（固定資産）へ



クラウドAIの罠：

自律型エージェント(Deep Research等)による網羅的推論は、トークン消費を数桁規模で膨張させる。

限界費用ゼロの世界：

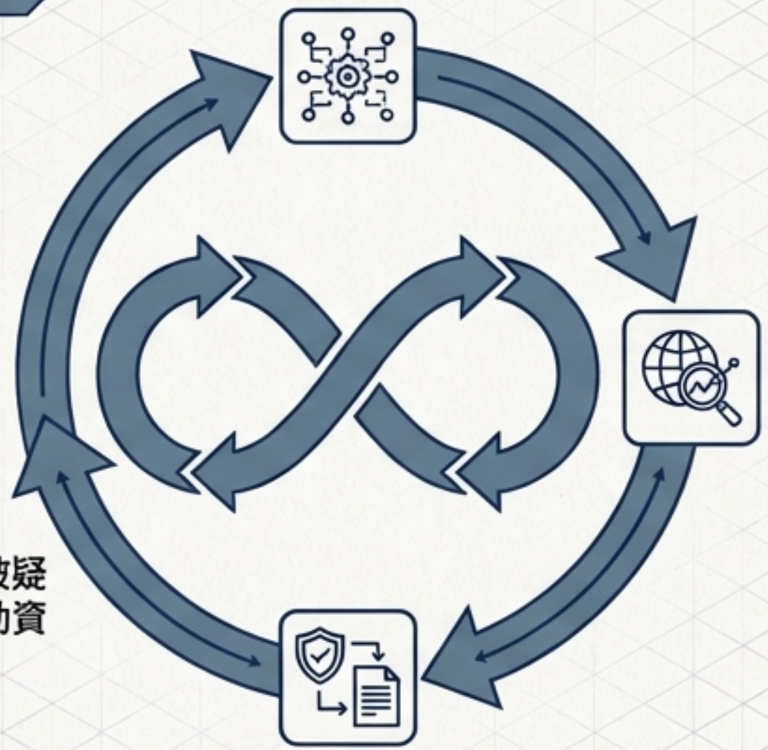
初期投資約2,849万円（年間償却費 約570万円）。どれだけ自律エージェントを24時間回しても追加コストはゼロ。

Gemini Notebook

[HEADER]: ワークフロー革命1：自律型知財エージェントの常時稼働

Sandbox

1. R&D監視: 社内の電子実験ノート・開発リポジトリを常時クロール。



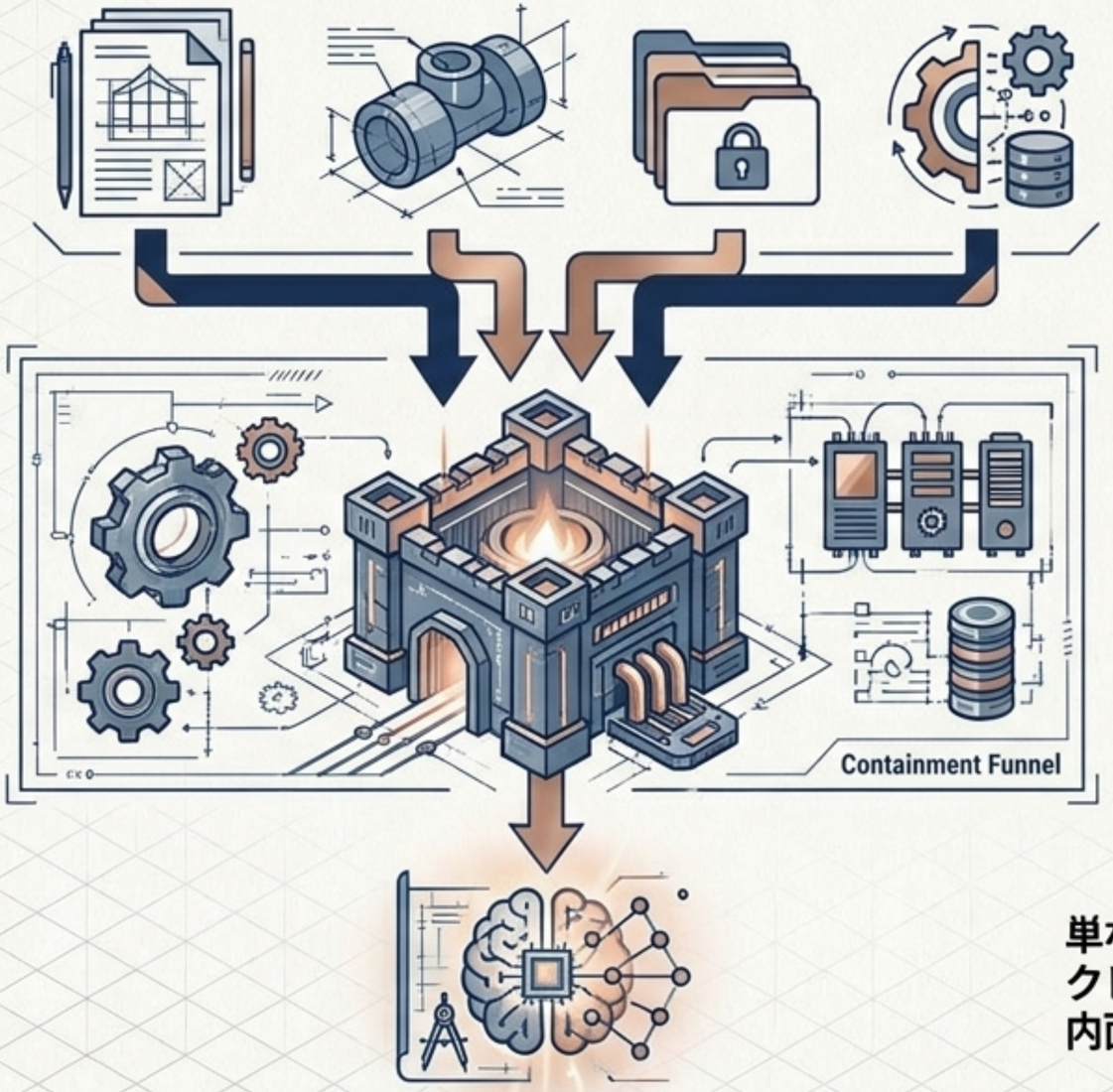
2. 並列検索: 世界中の公開公報・論文とリアルタイム照合。

3. 無効化・FTO: 障害特許検知時、被疑侵　害品とのクレームチャートと無効資料を翌朝までに自動編成。

NVIDIA OpenShell上のエージェント「claws」。
トークン課金ゼロだからこそ実現できる
「24時間365日の知財インテリジェンス」。

Gemini Notebook

[HEADER]: ワークフロー革命2：企業固有データのローカル学習



未公開実験ノート / 審査官面談記録 /
成功した意見書・補正書 /
3D CAD・CAEデータ（フィジカルAI連携）

機密データを一切外部に出さず、
1,000億〜4,000億パラメータの専用モデル
を直接ファインチューニング。

単なる「プロンプト改善」を脱却し、自社特有の
クレーム表現（社内スタイル）や技術用語を完全に
内面化した「超巨大・知財特化型LLM」の構築。

Gemini Notebook

[HEADER]: 専門職の再定義：「コンテキスト・アーキテクト」への進化



法的遵守境界
（善管注意義務）



AIが担う領域：
- 従属クレームの網羅的展開
- 明細書の初稿（実施形態）作成
- ノイズ文献の高速フィルタリング
- 拒絶理由通知の妥当性検証

人間が担う領域：
- 独立クレーム（請求項1）の策定
- 事業・ブランディング戦略の統合
- 法的最終判断と責任負担
（不誠実な出願の防止）

**文書作成者から、自社戦略に合わせてAIを設計・統制する
「文脈の設計者」への不可逆的な移行。**

Gemini Notebook

[HEADER]: エコシステムの構造再編：知財サプライチェーンの二極化

企業知財部	大手特許事務所	中小・個人事務所
• 変化: FTO・翻訳・初稿作成の全面的な「内製化」。 • 戦略: 外注費削減分をZGX Fury等のCAPEXへ転換。 R&D直結の体制構築。	• 変化: クライアントごとの専用学習環境を提供するプラットフォーム型へ。 • 戦略: 「完全閉域網AI」をSLAとして保証し、セキュリティ・プレミアムで大口顧客を囲い込む。	• 変化: 定型案件の喪失と低価格化圧力の激化。 • 戦略: 物量勝負を避け、複雑系訴訟やライセンス交渉などAI代替不可能な高付加価値領域へ集中。

Gemini Notebook

[HEADER]: 新たな法的死角：知財AIシステム自体の「特許侵害」リスク



ローカルで安全にAIを構築できても、その「業務処理フロー」自体が他社の基本特許を侵害するリスクが浮上している。

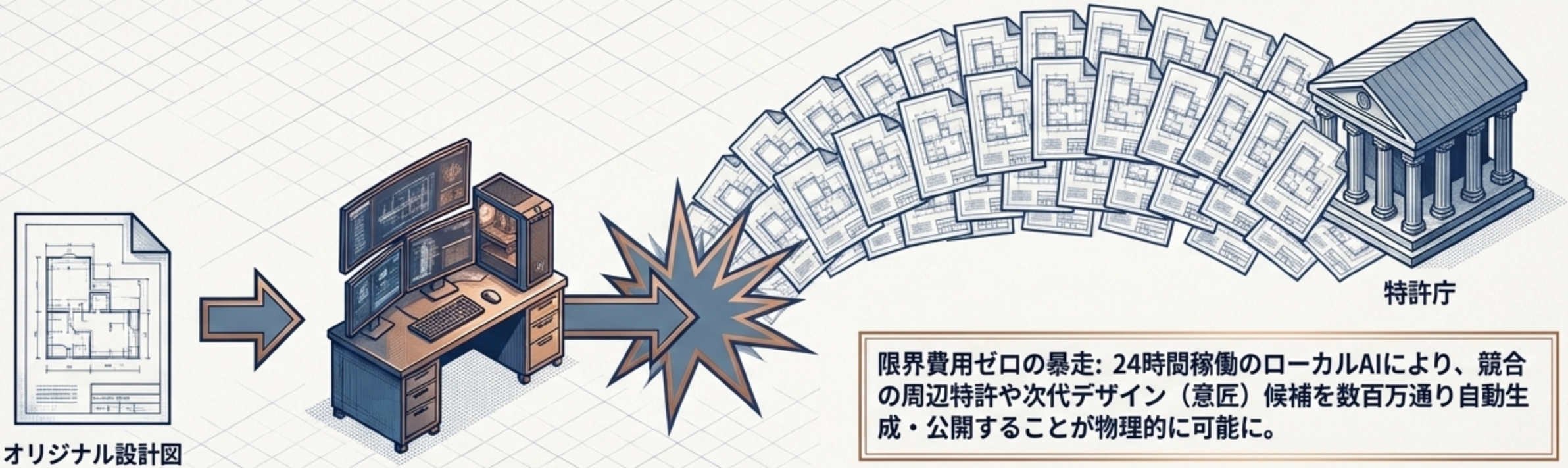
知財テック特許を巡る訴訟激化

- パテント・インテグレーション社等が「特許文書作成支援」「根拠段落出力」「類似度評価」等の基本特許を広範に取得。
- Patentfield、Amplified等に対する相次ぐ特許権侵害訴訟が発生。

警告: 自社の閉域網内で独自開発したAIツールであっても「業としての実施」に該当。知財部門自身による「AIワークフローのFTO調査」が不可避に。

Gemini Notebook

[HEADER]: エコシステムへの脅威：「先回り大量生成」問題



限界費用ゼロの暴走: 24時間稼働のローカルAIにより、競合の周辺特許や次代デザイン（意匠）候補を数百万通り自動生成・公開することが物理的に可能に。

もたらされる結果:
- 本来の創作者の出願が「新規性・進歩性」を喪失。
- 玉石混交の大量出願による審査機能の麻痺と「不誠実な出願」リスク。

強力な「矛」としてのローカルAIには、知財エコシステムを破壊しないための高度な倫理観とAIガバナンスが求められる。

Gemini Notebook

[HEADER]: 知財覇権を握るための3つの戦略的アクション

STEP 3: AI-FTOの徹底
（コンプライアンス戦略）

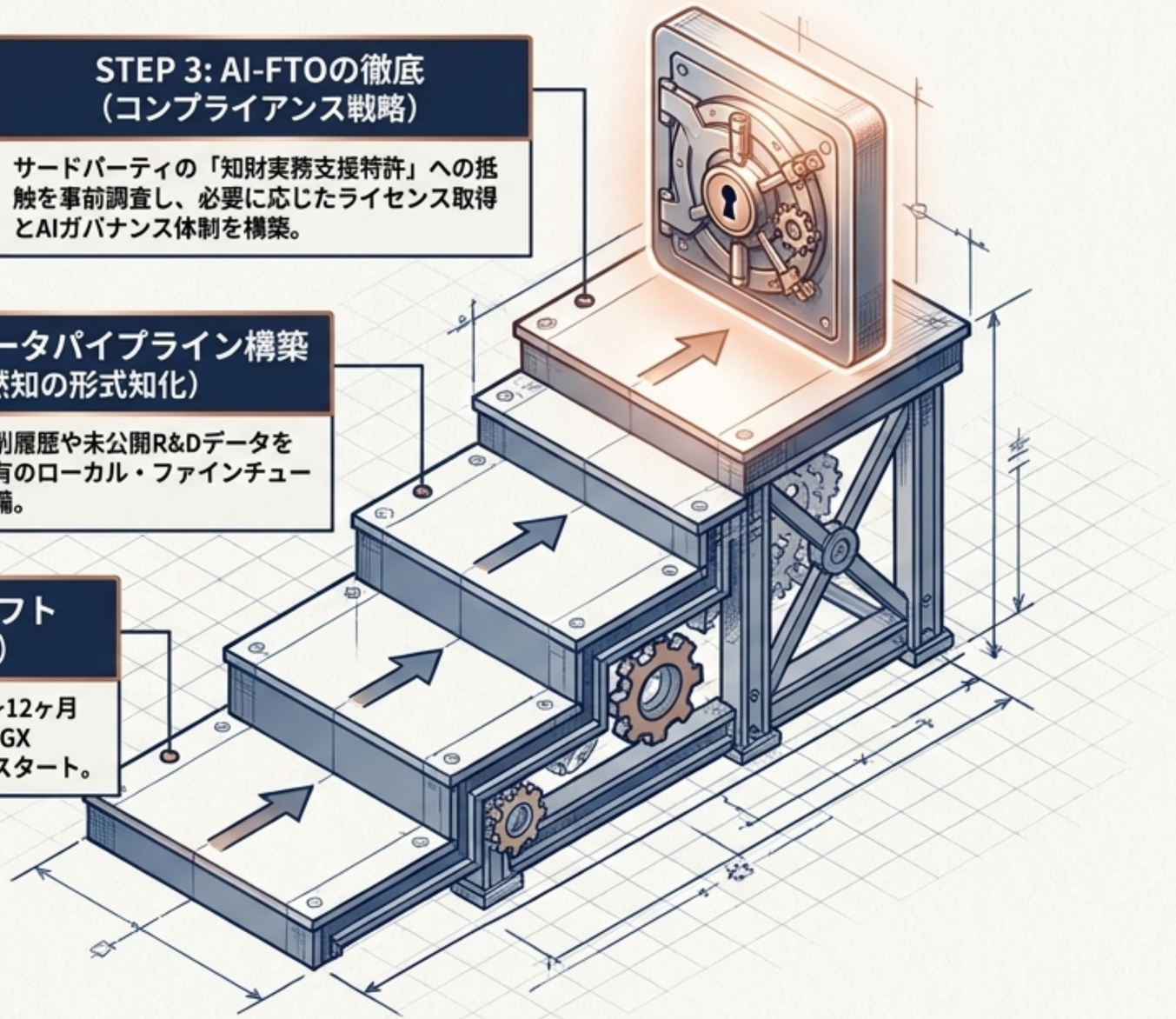
サードパーティの「知財実務支援特許」への抵触を事前調査し、必要に応じたライセンス取得とAIガバナンス体制を構築。

STEP 2: データパイプライン構築
（暗黙知の形式知化）

熟練弁理士の添削履歴や未公開R&Dデータを統合し、自社固有のローカル・ファインチューニング基盤を整備。

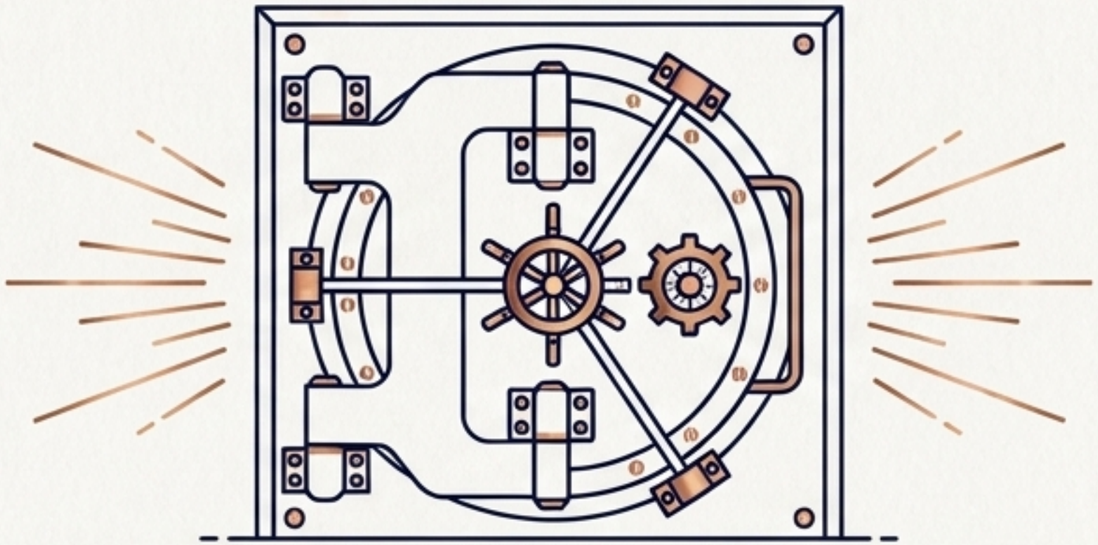
STEP 1: CAPEXへのシフト
（インフラ投資の決断）

クラウド課金と外注費を削減し、8〜12ヶ月で回収可能な「知財生産設備（HP ZGX Fury）」として1〜2台からスモールスタート。



Gemini Notebook

ハードウェアの制約は消滅した。
問われるのは「文脈」の設計力。



1兆パラメータの推論力が完全に保護されたオンプレミス環境で解放された今、
AI導入をためらう理由は失われた。

次世代の知財競争力は、データセンター級AIを自社の暗黙知で染め上げ、
適法かつ戦略的に運用できる「コンテキスト・アーキテクト」組織のみが手にする。

Gemini Notebook